

<福島県知事賞>

## みんなの税 私の税

田村市立船引中学校 3年 菅野 克己

税は何のためにあるのだろうか。僕はずっと、そんな疑問を抱いていた。なぜ、商品の本体価格よりも多く支払う必要があるのか、不思議に思っていた。僕の他にも、同じ疑問を抱いたことがある人は、たくさんいるだろう。僕はそんな人達と共に、税について考えていきたいと思っている。

税について考える際に、一番身近にあるのは「消費税」だと思う。冒頭で述べたが、僕が税について考えるきっかけとなったものだ。消費税は、年齢、性別に関わらず、誰もが納める税だ。では、この消費税は、どういったものに使われるのか。

僕は社会科の授業の中で、税について学習した。その中で、僕たちが納めた税がどのようなものに使われるのかを、知ることができた。道路の整備や、まちづくりのための「土木費」、学校教育や文化の振興のための「教育費」など、他にも様々なところで使われている。こうして見ると、税というものは、僕たちのとても身近なところに使われているのだということに気が付く。

税には、たくさんの種類がある。その中で僕が特に注目しているのは、健康面や環境衛生面などに使われる費用、「衛生費」である。田村市では、子どもの医療費が無料である。これも、医療に税が使われているからである。田村市以外でも、こういった政策を行っている地域はあるだろう。税は大人、子どもに関わらず支払っている。そしてそれが、人の命を助ける。ぼくが衛生費に注目している理由は、ここにある。日本全国で支払われた税が、これからの日本を支えていく子どもたちのために使われる。素晴らしい税の使い方だと思っている。

ここまで、税についていろいろと述べてきたが、いずれにせよ、税というものはとても身近なところにあるのだと、気付かされた。自分の身の周りでは、どういったもので消費税を、支払っているのだろうかと思い、部屋を見渡してみる。机やタンス、

ベッドに漫画、教科書、CDなど、例えを出したら終わりが見えない。それほど税は、身近にあるたくさんの物に使われている。

今年の十月から、消費税が10%に引き上げられることが決まった。僕は、消費税が引き上げられることを聞いたとき、驚いた。消費税を10%も支払うなんて、正直嫌だと思った。僕の他にも、こう考えた人はたくさんいると思う。しかし、そういう人は、こう考えてみてはどうだろうか。「税は他の人のためでもあり、自分のためでもある」と。税というものは年齢問わず、全ての人が支払っている。そんな税が、自分たちの見えないところで人の支えとなっている。そして、自分のためにもなっている。そう考えれば、消費税10%も、あまり苦しくなくなると思う。僕自身も、そういったことを頭に置き、人のためとなる税と向き合っていきたい。